

平成 30 年度 苫小牧市福祉事業協会事業報告について

第 1 子ども・子育てをめぐる現状

国は、「新しい経済政策パッケージ」(平成 29 年 12 月閣議決定)、「経済財政運営と改革の基本方針 2018」(平成 30 年 6 月閣議決定)において、保育園、認定こども園、幼稚園などを利用する 3 歳から 5 歳の全ての子どもと 0 歳から 2 歳児までの住民税非課税世帯を対象に利用料を無償化する方針を示し、消費税の税率を引き上げる平成 31 年 10 月 1 日から実施するとしています。

一方、保育所における保育の内容及びこれに関連する運営に関する事項については、乳児・3 歳未満児の保育に関する記載の充実、保育所保育における幼児教育の積極的な位置づけ、健康及び安全に関する記載の見直し、子育て支援の章の新設、職員の資質・専門性の向上などを内容とする新たな保育指針を公示し、平成 30 年 4 月 1 日から適用することから、市は、苫小牧市保育関係団体連絡協議会保育部会において、新たな指針に基づく全体的な計画などについて検討を行い、平成 31 年 4 月からそれぞれの施設で取り組むとしました。

また、市は、待機児童解消に向けた取組として、認定こども園などの利用定員を見直し受入れ枠を拡大するとともに、小規模保育施設や企業主導型保育園の設置に向けた取組を行っています。

本法人では、平成 30 年 4 月 1 日から、ひよし保育園の新園舎での保育をスタートさせるとともに、職員の確保や保護者への新たな情報提供の一環として、ホームページの更新やインスタグラムの公開などを行いました。

また、安全・安心で質の高い保育の実施と働きやすい職場環境の整備に向け、すえひろ保育園など 4 園で園舎などの改修計画を作成するとともに、正規職員の受験要件の拡大や事務処理の簡素化に向けた取組を行いました。

第2 少子化の進行と待機児童について

市の出生数は、平成28年1,359人、29年1,255人、30年1,243人と減少し、0歳から4歳までの年齢別人口の合計も、28年7,081人、29年6,865人、30年6,635人と減少しており、依然として少子化が進行しています。

そのような中、保育園の入所児童数は、平成26年度から増加し、28年度は、22,113人、29年度は、23,179人、30年度は、9か所の認定子ども園と6か所の小規模保育施設の園児も含め27,245人となっています。

また、市が公表した平成30年度の待機児童は、国の算定基準による場合、4月0人、10月0歳児80人、1歳児25人の105人でしたが、他に入所可能な保育園があるにもかかわらず、特定の保育所を希望し、保護者の私的な理由により待機しているケースなどを含めた場合、平成31年3月1日318人、その内、0歳児200人63%、1・2歳児99人31%と0歳から2歳までの低年齢児が全体の94%を占めています。

第3 法人組織について

法人の設置目的及び経営の原則に基づき、地域福祉の推進に努め、誰からも愛され、信頼される法人として、健全な運営・経営に努めました。

評議員会については、定時評議員会を6月に開催し、平成29年度苫小牧市福祉事業協会事業報告、理事の選任及び平成29年度各施設拠点区分決算について承認をいただきました。

理事会については、5回開催し、理事の選任、就業規則・給与規程・保育園運営規程等の改正、各拠点区分の予算、保育所施設・設備整備積立資産の創設などについて承認をいただきました。

また、法人役員につきましては、法人役員・施設長専門研修や社会福祉法人監事研修に出席していただきました。

胆振総合振興局による平成30年度保育所等指導監査が、平成31年1月18日に実施され、施設職員の業務発令、職員会議の連絡体制、給食材料の購入の3項目について口頭指摘がありましたが、いずれも必要な措置を速やかに講じました。

第4 様々な観点からの取組みについて

人材確保・情報共有の観点からは、平成30年1月に設置したSNSによる人材確保プロジェクトチーム会議での議論を受け、6月にインスタグラムを公開するとともに、9月6日に発生した北海道胆振東部地震においては、職員や保護者への連絡体制が十分ではなかったことから、コミュニケーションサービスの在り方について、様々な会議で検討を行ってきました。

安全・安心の観点からは、導入が遅れていたAED(自動体外式除細動器)を全園に設置しました。

また、施設経営の観点からは、人件費比率の適正化に向けた取組を行ったほか、複雑化する労働問題への対策として、社会保険労務士との指導相談委託契約を締結しました。

なお、有期労働契約から無期労働契約への転換については、4人の職員が転換を申し込みました。

第5 保育と事業の実施について

平成30年4月1日に国から新たな保育指針が公示されたことから、本法人における保育理念等を見直し、保育理念については、「すべては、子ども達とその未来のために」－生命と人権を真の愛をもって守り、地域に愛される保育をめざす－とし、保育目標については、「豊かな心の子どもをめざして」－明るく 楽しく 元気なからだ－としました。

本法人では、今年度も、6保育園で保育を実施するとともに、たいせい保育園では休日保育を、ひよし保育園では体調不良児対応型の病児保育事業を、あけの保育園以外の5保育園では延長保育事業を、あけの保育園では、一時保育事業と地域子育て支援拠点事業を実施しました。

(1) 保育の実施等

保育園では、本法人の統一保育理念と保育課程に基づき保育を実施するとともに、保育士が日常の保育を振り返り、保育の計画や実践、改善等を図るための自己評価や園長による能力評価をパート職員を除くすべての職員に行いました。

なお、全体会議として、園長会議、主任保育士会議、副主任保育士会議を、専門会議として、栄養士会議、SNSによる人材確保プロジェクトチーム会議を開催しました。

また、平成 30 年 7 月 31 日に発生した園児の道路への飛び出事故については、主任保育士で構成するリスクマネージャー会議での報告を受け、園長と事務局長・次長で構成されるリスクマネジメント会議を開催し、飛び出しの原因や保護者への対応、再発防止策などを検討し、検討結果等について理事会で報告を行いました。

(2) 通常保育・食育

平成 30 年度の保育は、4 月 1 日、月定員 486 人に対し 433 人(前年度比 1 人の減)の園児でスタート、9 月 1 日 457 人、12 月 1 日 464 人、3 月 1 日 463 人と推移し、年間の園児数は、保育標準時間認定子ども 4,562 人、保育短時間認定子ども 906 人の計 5,468 人、前年度比 225 人の増、充足率 93.8%、前年度比 2.8%の増となっています。

園児数の増の理由は、ひよし保育園が新園舎になり、通年で保育を行うことができるようになったことによるものです。

食育については、苫小牧市立保育園食育計画(平成 27 年度～31 年度まで)に基づき、地域の特色を生かす取組を行い、食物アレルギーについても、国・市のガイドラインなどに基づき適切に対応しました。

(3) 休日保育

たいせい保育園で実施している休日保育については、専任保育士の確保ができなくなった平成 28 年 4 月から、利用定員を 20 人から 10 人に引き下げ、また、利用年齢を 1 歳以上から 3 歳以上に引き上げ実施しています。今年度の登録者数は、年間合計 307 人で前年度比 140 人の増、年間延利用希望者数は、307 人で前年度比 168 人の減、年間延利用者数は、117 人で前年度比 121 人の減となっています。

(4) 病児保育事業

ひよし保育園で初めて実施した体調不良児対応型の病児保育事業については、年間の利用状況、0 歳児 14 人、1 歳児 22 人、2 歳児 26 人、3 歳児 17 人、4 歳児 9 人、5 歳児 18 人の 106 人となり、月別では、2 月 19 人、7 月 13 人、4 月 11 人などとなっています。

(5) 一時保育事業

あけの保育園で実施している一時保育事業については、利用世帯は、非定型的保育 75 世帯、緊急保育 6 世帯、私的保育世帯 83 世帯の 164 世帯で前年度比 12 世帯の減、児童数は 166 人で前年度比 19 人の減となっています。

(6) 地域子育て支援拠点事業

あけの保育園で実施している地域子育て支援拠点事業については、開放日数 244 日で前年度同日、利用延世帯 1,658 世帯で前年度比 28 世帯の減、利用延人数 3,568 人で前年度比 83 人の減、一日平均利用人数 15 人で前年度同数となっています。

また、子育てルームの育児相談件数は 52 件で前年度 28 件の減となっています。

(6) その他の保育事業

乳児保育については、生後 57 日目からの受入を、ひよし保育園、こいとい保育園、すえひろ保育園及びあけの保育園で、生後 4 か月からの受入を、たいせい保育園、さくらぎ保育園で実施し、年間受入園児数 485 人で前年度比 93 人の増となっています。また、障害児保育については、ひよし保育園、たいせい保育園で実施し、年間受入園児数 36 人で、前年度比 43 人の減となっています。

(7) 保育施設の整備

保育施設の整備については、ひよし保育園では、園庭スピーカー増設工事やロールスクリーン操作チェーン延長工事など、こいとい保育園では、調理室ガス給湯器取替工事、自動火災報知設備交換など、さくらぎ保育園では、廊下喚起ダクト保湿工事や暖房循環ポンプ取替工事など、たいせい保育園では、屋外給水管漏水修理や消防用設備修繕など、すえひろ保育園では、園庭整地工事や保育室引違窓戸車交換など、あけの保育園では、網戸交換工事や保育室棚修理などを行っています。

第 6 こいとい保育園の改築について

こいとい保育園については、昭和 53 年 3 月の開設から 41 年を経過し、老朽化も著しいことから、こいとい保育園改築検討委員会を立ち上げ、施設型給付に基づく施設の在り方や実施事業などについて検討を行ってきました。

第7 職員関係

平成30年度は、新採用職員を含む正規職員64人、嘱託職員6人、契約・パート職員48人の計118人でスタートしましたが、入所児童の増加等に伴い、契約・パート職員を採用したことから、平成31年3月には、計124人となりました。

なお、職員には、乳児保育担当等研修、障害児保育担当等研修、北海道保育研究大会（帯広市）、全国保育研究大会（川崎市）、栄養士専門研修、地域子育て支援拠点事業職員研修、法人役員・施設長研修、キャリアアップ研修などに参加させ、職員の資質の向上に努めました。